



持続的腎代替療法(CKRT)における
臨床工学技士の役割と
チームマネジメント

開催日時

2024 5/18(土) 12:25~13:25

会場

第6会場 〒910-0005 福井県福井市大手3-12-20
ザ・グランユアーズフクイ 瑞雲 3F

座長

開正宏 先生 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 医療技術部 臨床工学技術第一課

演者

坂野 梨絵 先生 福岡徳洲会病院 臨床工学科
持続的腎代替療法に対する多職種連携と臨床工学技士の取り組み

演者

濱田 悠佑 先生 聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部
当院におけるCKRTへの臨床工学技士の関わり方

- 本学会の開催形式につきましては、学会ホームページをご覧ください。
- ランチョンセミナーは事前登録制になります。

学会ホームページ

<https://www.sasappa.co.jp/jace2024/index.html>



演
題

持続的腎代替療法に対する 多職種連携と 臨床工学技士の取り組み

演
者

坂野 梨絵 先生
福岡徳洲会病院 臨床工学科

集中治療室(ICU)では、医師をはじめ臨床工学技士(CE)・看護師(Ns)・薬剤師など多職種と連携を取りながら患者の治療をおこなっている。その中でCKRTにおけるCEの役割やこれまでの取り組みについて報告する。

当院では集中治療専門臨床工学技士2名と集中治療認定臨床工学技士1名在籍しておりICUでの業務を担っている。現在ICUでのCKRTは透析業務のCEが対応しており、治療における膜選択などは透析CEの判断で選択し、担当医もしくはICU医師へ許可を得る事が多い。しかし、集中治療では全身管理における知識や情報も必要なことから、集中治療専門CEや担当看護師からの情報収集は不可欠となっており、毎日ICUラウンドでICU医師も同席し治療方針等の話をおこなっている。

これまでCKRTにおいて一番の問題は、治療時間(膜・回路ライフタイム)ではないだろうか。膜や回路の凝固に対して、抗凝固剤の増量や膜素材やサイズの変更など様々な対応をしている。しかし、それでも回避できない状況を経験している。このような状況の場合、当院では各装置の特徴を考慮し装置の選択も治療の選択肢の一つとしている。

以前は1機種(5台)のみだった装置を2機種にした事で、静脈チャンバーの凝固による治療終了を回避する事ができ、更に凝固トラブルが多く膜選択から外れていたセプザイリスSTの使用が可能となった。この事は、敗血症患者に対する治療選択肢が増え、更に治療時間も延長できた。

ICUにおいてCKRTは24時間管理となる事から、看護師への負担も多く掛かる。更に当直帯の対応には透析経験者が常時対応する訳ではないため、教育は必須となる。当科では、当直帯のスタッフにも返血作業が出来るように返血動画を電子カルテにアップし、急な返血作業にも対応出来るようにしている。この様にCKRTの日常業務だけでなく、その他スタッフへの教育や対応しやすい環境を整えるのもCEとして役割だと考える。

演
題

当院におけるCKRTへの 臨床工学技士の関わり方

演
者

濱田 悠佑 先生
聖マリアンナ医科大学病院 臨床工学技術部

2023年1月1日に新病院への移転を行い、ICU30床HCU36床となった。現在、このエリアでは日勤帯4~7名体制、夜間は当直で3名+オンコールで24時間体制をとっている。旧病院体制から新病院体制では関わる部門の変化もあり呼吸・循環・代謝と臨床工学技士の業務としては多岐にわたる業務を行っている。持続的血液浄化療法(CKRT)において、旧病院体制での考え方も残しつつ標準的な関わりをし、多様な患者へも対応できるよう取り組んできた。

昨今、各職種間での情報共有を行うチーム医療が質の高い医療を提供するために必要といわれており、当院での通常CKRT施行時には臨床工学技士、医師、看護師が常に関わっており、病院においても各職種での役割が異なるが当院では「設定条件」に関しては医師と臨床工学技士で、「管理」においては臨床工学技士と看護師で協力的に行っている。また、集中治療室におけるCKRTは多職種の業務に影響を及ぼす。血液浄化で除去される抗菌薬投与に関しては薬剤師と、血液浄化の除去と経腸栄養剤投与での摂取の調整を栄養士と、CKRT施行患者における早期離床に向けてのリハビリでは理学療法士との連携が必須である。

また、当院では2機種の血液浄化装置を有しているが、それぞれの特徴を理解し状況に合わせた使い分けが必要となる。血液浄化装置プリズマフレックス(以下プリズマフレックス)は他の装置に比べVチャンバーでの凝固率は低いが、ヘモフィルターはプレコネクトでありヘモフィルターでの凝固の際にはヘモフィルターの特性を考慮した変更はすることができない。また、SCUFにして除水のみを行うとVチャンバーでの補液層と血液層の分離といった特性を十分に発揮することができない。こういった特徴を含めプリズマフレックスに関して4年間使用して実際に起こった事象を基に振り返り考えていく。



【販売名】
血液浄化装置 プリズマフレックス
【一般的名称】
多用途血液処理用装置
【承認番号】
22400BZX00087000
【区分】
高度管理医療機器 クラスIII
特定保守管理医療機器

【販売名】
プリズマフレックス セプザイリスセット
【一般的名称】
持続緩徐式血液濾過器
【承認番号】
23000BZX00024000
【区分】
高度管理医療機器 クラスIII

JP-AT1-240004V1.0 04/2024